

芝刈りロボレンタル

リ・プロダクツ 法人向け2機種

【大津】リ・プロダクツ（大津市、高奥要輔社長）は、掃除ロボットの法人向けレンタルサービスで、芝刈りロボットを商品ラインアップに加える。同社が屋外向けロボットを取り扱うのは初。芝刈り作業の自動・無人化に加え、作業員の夏場の熱中症対策や委託コスト低減にも役立つ。芝庭のある施設やホテルなどでの利用を想定。同ロボット契約台数で月100台、レンタルサービス事業全体で2024年12月期に現状比約2倍となる売上高2億円を目指す。

お試しキット提供

新たに追加するのは、売する芝刈りロボットハスクバーナ・ゼノア「オートモア」シリーズ（埼玉県川越市）が販



500平方メートルと同3200平方メートルに対応する2機種。作業範囲にワイヤを敷設し、ロボットはエリア内をランダムに走行。傾斜角度が20度程度なら完全無人

で芝刈りできる。充電が切れる前に自動でステーションに戻り、メンテナンスは刃の交換程度と、人手はほとんどかからない。

レンタル料金は、1500平方メートルタイプで月額2万円（消費税抜き）、3200平方メートルタイプで同3万2000円（同）。リ・プロダクツでは、外

商品ラインアップに追加するハスクバーナ・ゼノアが販売する芝刈りロボット

部委託コストが約7割抑えられると試算。導入前に無料でテストできる「お試しキット」も提供し、ロボット導入のハードルを下げる。同社は清掃サービスや清掃用品の製造販売を手がけ、実際の現場で活用する床清掃ロボットの知見を応用して

掃除ロボットのレンタルサービス事業を18年から開始。オフィスや飲食店向けに展開している。従来は24年12月期に同事業で売上高1億円を掲げていたが、人手不足などを背景に旺盛な需要が続いていることから目標を引き上げた。